



ホタル

平成29年 7月18日発行
八戸市立白銀南小学校
TEL 33-1126

子どものネット環境を考える

校長 高谷 信行

子どもたちが中庭で育てているミニトマトがきれいに色づいて、豊かな房になって枝にたれています。陽の光と雨が、植物の成長を応援しているようです。

7月3日の参観日には多数の保護者の方に来校していただきました。学年が1つ上にあがり、3か月でたくましく成長した子どもの姿を見ていただけたことと思います。

この日の教育講演会では、「スマートフォン・ゲーム機によるネットの現状！」と題して、次のような講話をいただきました。

○子どものネット接続関係についての現状

- ・携帯型ゲーム機は電話機能のないケータイである
- ・全国調査ではネットにつなげられる機器を84%の小学生が所持している
- ・小学生はゲーム機からネットに接続し、1日平均93分利用している

○「普通のサイト・サービス」で起きる要注意トラブルとして紹介されたもの

- ・アダルトなど不適切なコンテンツ掲載サイトの閲覧、架空請求詐欺などの事例
- ・出会い系等の身体生命の危機に直結する事例
- ・不適切な発信（書き込み・画像）によるプライバシーが拡散した事例

○保護者が子どもへ伝えてほしいこと

- ・保護者がネットで「怖い」と感じたことを具体的に子どもへ伝える
- ・遊びを禁じるのではなく、遊び方を変えるようにする
- ・困ったらすぐに親に知らせる（トラブルゼロでないほうが当然）
- ・機器の所有は保護者であり子どもに貸している状態、貸し出す際の約束をする
- ・「使っている時間」にも注意し、睡眠の質と量の改善に取り組む

時代とともに急速に変化していくネット環境からどう子どもを守っていくか、どのように情報教育を進めていくか、今後とも学校・家庭・地域社会が連携し一緒に取り組んでいきたいと考えています。

もうすぐ夏休みです。保護者や地域の方々におかれましては、学区内での子どもの様子についてお気づきの点がありましたら、学校に一報をいただくと幸いです。白銀南小学校区が安全で安心できる地域であること、そして2学期始業式には子どもたち全員の元気な笑顔に会えることを願っております。